

## 「サステナビリティ方針」の制定と CO2 排出量削減に向けた取り組みについて ～環境配慮型電力契約への切替・環境配慮型車両の試験導入～

三菱食品株式会社（東京都文京区）は、このたび、中期経営計画 2023（以下「中経 2023」）で掲げた当社パーパス（「食のビジネスを通じて持続可能な社会の実現に貢献する」）に根ざしたサステナビリティ経営を実践するべく、「サステナビリティ方針」を制定しました。また、本方針に掲げた地球環境保全推進の具体的打ち手として、「CO2 排出量削減に向けた環境配慮型電力契約への切替」と「環境配慮型車両の試験導入開始」を行うこととしましたので、お知らせします。

### 1. サステナビリティ方針について

企業理念である「三綱領」の考えのもと、持続可能な社会を支える企業として、社会課題の解決・社会的責任を重視したサステナビリティ経営を行うべく、2021年12月23日付で三菱食品グループ※における「サステナビリティ方針」を新たに制定しました。

#### サステナビリティ方針

私たち三菱食品グループ※は、食のビジネスを通じて持続可能な社会の実現を目指し、

1. 地球環境の保護を含む社会課題の解決と、持続可能な社会の実現に貢献することで、三菱食品グループに係る全ての人々の人生を豊かにしていきます。
2. 人権および多様な価値観・個性を尊重します。
3. 社員を最大の財産と考え、社員の健康、安全で快適な労働環境の実現、多様な働き方を尊重することで、ワークとライフの充実と個人の能力開発を促進します。
4. 国際ルールや関連する法令を遵守するとともに、公正で透明な企業統治を行います。
5. ステークホルダーとの対話を積極的に行うとともに、企業情報を適時・適切に開示します。
6. 生活の基盤となる食のライフラインを担う企業として、食の安全・安心・安定供給を常に維持するため、社会や環境を意識したサプライチェーンを構築します。
7. 日本や世界各地域の豊かな食文化を育むことを通じて、すべての人が健康に暮らせる環境づくりに貢献します。
8. 社会の課題・ニーズの変化に対応した、社会貢献活動を継続していきます。

※三菱食品グループ：三菱食品株式会社およびすべての子会社

## 2. CO2 排出量削減に向けた取り組みについて

近年、世界各地で地球温暖化の影響とみられる異常気象や大規模な自然災害による被害が甚大化するなど、気候変動は企業の事業環境や経営そのものに大きな影響を及ぼしており、世界共通の課題となっています。

当社は中経 2023 にて「食のビジネスを通じて持続可能な社会の実現に貢献する」をパーパスに掲げており、その一環として脱炭素社会の構築に貢献すべく、当社が掲げる 2030 年目標の一つ「CO2 排出量削減」の達成に向けた具体的施策として、以下のとおり社内決議しましたのでお知らせします。尚、今回の取り組みも踏まえた 2030 年度の新目標は今春を目途に再設定・リリース予定です。

### (1) 環境配慮型電力への切替

電力会社との契約が当社名義となっている全国 9 エリア全ての電力について、2022 年度の契約を CO2 排出係数ゼロの環境配慮型電力契約に切り替えることとしました。

- ① 契約開始日：2022 年 4 月
- ② 対象エリア：全国 9 エリア（北海道・東北・関東・中部・北陸・関西・中国・四国・九州）
- ③ CO2 排出削減量（見込み）：約 30,000 トン

### (2) 環境配慮型車両の試験導入

食品流通業界における配送車両の CO2 排出量削減は、持続可能な物流を実現する上で必須の課題であることから、この度当社連結子会社であるキャリテック株式会社（物流運営業）に非化石燃料車（EV トラック：走行時の CO2 排出ゼロ）を 2 台試験導入することとしました。

- ① 導入開始月：2022 年 2 月
- ② 車両概要
  - ・メーカー：三菱ふそうトラック・バス株式会社
  - ・名称：「eCanter」（電気モーター／リチウムイオンバッテリー車両）
  - ・車両総重量：7.5t
  - ・最大積載量：3,250 kg
  - ・走行可能距離：100 km／フル充電



以上